

参加費無料

ご紹介と体験セミナー (Web)

設計者向け 3次元公差設計ソフトウェア

TOLERANCE JAPAN (TOL J[®]) for SOLIDWORKS

ご紹介と体験セミナー (Web) 二部構成 14:00～16:00

【第一部】 TOL Jのご紹介 14:00～14:30 (約30分)
TOL Jとは、TOL Jの主な機能、TOL Jのメリット

【第一部】のみのご参加も可能です。
どなたでもお気軽にSOLIDWORKSユー
ザ以外の方も。

【第二部】 TOL Jの体験セミナー 14:30～16:00 (約1.5H)
①液晶表示機器の部品同士のスキマ計算事例
②がたとレバー比モデルの計算事例
(幾何公差の公差計算含む)

【第二部】にご参加いただく方は、
SOLIDWORKSが使用できるPCをご準備
ください。
事前にTOL Jをインストールして頂く
必要があります。
実際のモデルを用いた公差設計の体
験をして頂きます。

【使用Webツール】 Microsoft Teams 【定員】 5名様

◆お申込方法：E-mailにてお申込みください。

TOLERANCE JAPAN (TOL J[®]) ご紹介と体験セミナー (Web) 参加申込書
受付窓口：株式会社プランナー TEL：0266-26-1456 E-mail：info@planer.jp

Webセミナー日程	ご希望の日程 (○を付けてください)
2024/2/19(月) 14:00～16:00	
2024/3/26(火) 14:00～16:00	
2024/4/22(月) 14:00～16:00	
2024/5/17(金) 14:00～16:00	
2024/6/18(火) 14:00～16:00	
2024/7/19(金) 14:00～16:00	
2024/8/19(月) 14:00～16:00	
2024/9/25(水) 14:00～16:00	

受講者情報	会社名	部署名	申込日	年	月	日	役職名
	会社住所	フリガナ	受講者名				
		電話番号	E-mail				

申込責任者	部署名	役職名	御氏名	フリガナ	印
	電話番号		E-mail		

参加費無料

ご紹介と体験セミナー

設計者向け

次元公差設計ソフトウェア

TOLERANCE JAPAN (TOL J[®]) for SOLIDWORKS

■純国産の3次元公差設計ソフト®「TOL J」

ジャパンアズナンバーワンの時代に構築された日本独自の公差設計理論を全て搭載

■SOLIDWORKS、Creo Elements/Direct、CATIAにアドオン、**設計者が使えるソフト**

■通常版**100**ライセンス、教育版**50**ライセンスが現場で活用

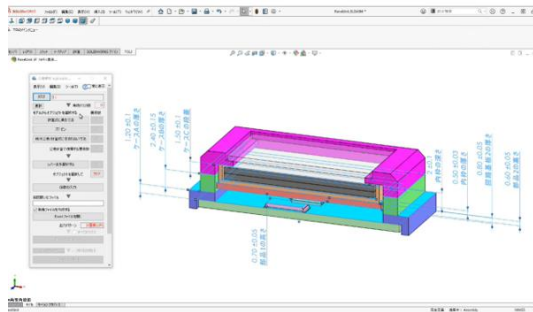
■これまで解決できなかった課題はありません

1,500を超えるGD&T（公差設計と幾何公差）を支援

■使いやすく、**低価格**で、**最効率**の公差設計を実現

■**3DA**に完全連携

価格：50万円(年間保守費用別途)



【TOL Jの3つのポイント】

- ①ガタ・レバー比、幾何公差も衝撃の価格で！
ハイエンドな機能を持ちながら、1/5～1/10の費用で実現
- ②初の国産公差設計ソフト
Σ計算、√計算だけではない、長年日本企業が培ってきた
きめ細かな公差設計（ノウハウ）を実現
- ③サクッと公差設計 ストレスフリー
8要因なら10分程度、50要因でも40分程度で解析可能。

【体験セミナーにご参加いただく皆様へ】

- ①体験セミナーにご参加いただく方は、SOLIDWORKSが使用できるPCをご準備ください。事前にTOL Jをインストールして頂く必要があります。
インストール方法は、別途弊社よりご案内させていただきます。
※SOLIDWORKS2019以上である必要があります。
- ②前日までに起動確認まで行っていただく必要があるため、お早めのお申し込みをお願いします。
- ③操作説明資料をPDFでお送りします。印刷してお手元にご用意をお願いします。
- ④ダブルモニタでのご受講をお勧めしております。
(モニタ1：講師の操作説明画面、モニタ2：ご自身のSOLIDWORKS画面)
- ⑤Microsoft Teamsは、Webブラウザでの参加とアプリでの参加ができますが、本Webセミナーでは、アプリでの参加をお願い致します。
(Microsoft Teamsについて)

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-teams/download-app>

お問合せ先：株式会社プランナー ☎393-0033 長野県諏訪郡下諏訪町9177-1 0266-26-1456

PLANNER